

平成22年度

事務事業評価表(平成21年度の実績評価)

記入年月日
平成 22 年 3 月 31 日

事務事業名		文化財防火デー訓練事業				区分		事務事業No.	34134029	
						<input type="checkbox"/> 分野別主要事業		課内No.	29	
		政策体系上の位置付け				<input type="checkbox"/> 未来プロジェクト事業		事務事業主管課		
政策体系	行政評価施策名	20	文化財の保存活用			<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト事業		所属部	教育委員会	
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化環境づくり			<input type="checkbox"/> 合併建設計画事業		所属課	文化生涯学習課 34	
	施策名	4	文化財の保存・活動			<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		課長名	杉山 文男	
	基本事業名	1	歴史資産の発掘及び保存			<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業		所属係	文化財係	
		財務会計上の位置付け				事業期間		担当者名	石川 文雄	
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
	1	10	5	4	1	文化財保護事業		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し (年度~)		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度)				

[Do] 1. 事務事業の現状把握 ▶ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

事務事業の内容
 ・文化財(建造物・彫刻等)消失する恐れがある物について防災の点検・指導・広報活動及び訓練を実施する
 担当者が行う事業
 ・関係機関連絡調整・通知文発送

(1) 事務事業の目的

①手段(21年度 実際に行った主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	単位
防災の点検・指導・広報活動及び訓練	ア 訓練・点検	回
	イ	
	ウ	
	エ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
文化財	ア 文化財	件
	イ	
	ウ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	単位
防災意識の向上	ア 参加者数	人
	イ	
	ウ	
④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
文化財の保護・活用	ア 文化財保護に理解を示す市民の割合	%
	イ	
	ウ	

(2) 指標値の推移

区分	単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (計画)	23年度 (目標)
⑤活動指標	ア 回	1	1	1	1	1	1
	イ						
	ウ						
⑥対象指標	ア 件	1	1	1	1	1	1
	イ						
	ウ						
⑦成果指標	ア 人	1	1	1	1	1	1
	イ						
	ウ						
⑧上位成果指標	ア %						
	イ						
	ウ						

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	期間限定 総投入量
事業費	財源内訳	国庫支出金 千円						
	県支出金 千円							
	地方債 千円							
	その他 千円							
	一般財源 千円	5	5	5	5	5		
人件費	事業費計(A)	5	5	5	5	5	5	0
	正規職員従事人数 人			1	1	1	1	
	延べ業務時間 時間			8	8	8	8	
	人件費計(B)	0	0	24	24	24	24	
	トータルコスト(A)+(B)	5	5	29	29	29	29	

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

国の指導により実施

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

水を出さないで訓練できないか

事務事業名	文化財防火デー訓練事業	事務事業No.	34134029	所属課	文化生涯学習課
-------	-------------	---------	----------	-----	---------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 文化財の保護・活用 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) 国・県・市の指定になっている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?) 指定文化財のうち順序を決めている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 関係者及び消防署が連携して行っている <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 文化財が失われる恐れがある <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に事業はない <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 必要最小限で行っている <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?) 必要最小限で行っている <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 対象文化財を順序決めて行っている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(3)-1 改革改善策	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 A: 継続(現状維持) B: 継続(改革改善を行う) C: 終了、廃止、休止 D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 未
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項